

令和 4 年度墨田区立文花中学校経営報告書

令和 5 年 3 月 2 日

学 校 目 標	『チーム文花中として、文武両道を目指し自分に誇りの持てる生徒、生徒の誇れる学校』づくり
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「楽しい」「できる」が実感でき、生徒の自主的な学習意欲を育む学校 ・ チーム文花中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校 ・ I C T 機器や一人一台のタブレットを効果的に活用した ICT 教育を推進する学校 ・ 夜間学級との交流等、人権尊重、異文化理解を積極的に推進する学校
目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の授業を大切にし、自ら計画し、進んで学びに向かう生徒 ・ 人権を尊重し、互いに協力しあい、自他を大切にする生徒 ・ 規範意識を身に付け、責任を果たし、社会に貢献できる生徒 ・ 文武両道の精神を持ち、心身共に健康で何事にも粘り強く取り組む生徒
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に教える「プロ」として、授業力・生徒理解力・危機管理能力等、自らの資質・能力の向上に努める。 ・ ICT を活用した授業研究等、生徒の意欲・関心を引きだし、今年度からの新学習指導要領に向けた校内研修を計画・実践する。 ・ キャリアプランによる計画的な研修への参加を推進する。 ・ 公務員としての服務を守り、尊敬される教職員を目指す。(率先垂範) ・ 働き方改革を視野に入れ、組織で効率よく仕事を行うように努める。

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成 状況	改善策	取組の 評価	改善策 の評価
各教科等 指導	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	B	<p>○研協力校 2 年目として、引き続き「学びに向かう力の育成」について研究を行い、12 月 20 日の研究発表日において「自己肯定感を高める取組」「分かる授業」の実践を発表した。今後も、授業者ごとに取り組むべき重点を定め、教員同士の授業観察期間を年に 2 回以上設けていく。</p> <p>○今年度から学習アプリにミライシード以外にキュビナを試験的に導入した。また、各教科において授業や家庭学習等において学習アプリを実践し、活用にあたっての効果を検証した。その結果、以下の成果と課題が得られた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒は答えを見て写す行為ができなくなり、きちんと学習する姿勢をつくることができる。 ・ 学力に課題がある生徒にとっては集中して学習がしやすい。冬季休業中の理科の課題を学習アプリで出したところ、9 割の生徒が期限内に提出できた。 ・ 生徒ごとに課題の量を変えて配信できるため、個別最適化学習が効率よく実施できる。 	B	B

		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学の証明や英語、国語など、「書く」ことによる学習においては使いづらい。 ・作業的になりやすく、学力が高い生徒にとっては紙媒体の方が良いという意見も出ている。 ・学習アプリによっては有料のものがあるため、導入する場合は、家庭の金銭的な負担が大きくなる。 <p>来年度も引き続き、学習アプリを各教科で活用し、生徒の学力向上や家庭学習の習慣化を目指していく。</p> <p>○どの教科でも、ロイロノートアプリ等、タブレットを活用した授業実践を行っている。また、今年度から授業をオンライン配信し、新型コロナウイルスによる濃厚接触者や、やむを得ず学校に登校できない生徒に対する支援を確立した。来年度も「すみだタブレットの日」でICT機器を活用するなど、各教科で課題解決型の授業を実践する。</p> <p>○基礎学力コンテストの全生徒の合格率は、国語の合格率は95%、数学は83%であった。昨年度と比較して若干下降しているものの、高水準を維持できているので、問題の難易度を上げつつ、学力の向上に努めていく。</p> <p>○生徒アンケート結果「授業に意欲的に参加している」に肯定的な回答が84%であり、多くの生徒に学習意欲があることが分かった。今後は生徒の意欲に対して、効果的な学習環境や方法を提供することが求められることから、放課後学習教室や補習教室を継続し、より多くの参加を促す。</p> <p>○今年度、英語検定を3回、漢字検定を3回、数学検定を3回実施し、合計220の生徒（重複を含む）が受験した。一方で、毎年3教科の教員のみが準備や放課後の試験監督等の負担となっているため、他教科からの応援等、一部の教員に負担が集中しない取り組みを計画する。</p>		
<p>特別な支援を必要とする生徒に対しての、組織的な支援等</p>	<p>B</p>	<p>○巡回心理士による授業観察を行い、支援の必要な生徒への指導上の配慮、適切な声かけを行った。また、1学年に対しては年に1回行われていたスクールカウンセラー（以下SC）面談を2回に増やし、生徒の様子の変化の早期発見に努めた。来年度はSC面談を集団から個別へと変更し、よりきめ細やかな支援を行う。</p> <p>○生徒がSCと繋ぎやすいよう、授業観察を行った。また、1学年ではSCによるアンガーマネジメント講義を2回実施し、思春期における感情のコントロールについて学習を行った。来年度も引き続き、学年とSCとの繋がりを強め、生徒がSCと向き合いやすい環境を整える。</p> <p>○特別支援校内委員会を年間5回以上実施し、常に新しい指導目標を立て、解決策を話し合った。来年度もこれまで通り担任、家庭からの情報を基に、支援員に対して生徒の実情や家庭等の要望に添った適切な対応ができるよう、計画立てて動くとともに、卒業後の進路を見据え、保護者とSCとをつなぐことにより、家庭の負担の軽減を図るとともに、通級等外部機関と積極的に関係を構築事を目指す。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>

<p>社会的自立に向けた 進路指導・キャリア教育・相談活動等</p>	<p>B</p>	<p>○今年度、3日間の職場体験を実施することができた。体験に協力していただいた営業所は30箇所を越える協力が得られ、生徒の仕事に対する意識の向上と将来の進路について考えることができた。来年度も、感染症対策を維持しつつ、体験を実施する。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等</p>	<p>B</p>	<p>○校内研修は予定通り実施し、2週間の授業観察期間を年間3回実施した。今年度は小集団に分かれて授業観察を行い、授業観察を受ける教員や教科が偏らないよう改善した。来年度も定期的な授業観察を実施し、各教員が苦手とする重点項目について改善する環境を整える。</p> <p>○初任者教員4名を中心に、東京教師道場のリーダー経験をもつ教員とのOJTを行い、研修レポートや授業指導案の指導を行い、生徒指導や授業改善に繋げた。今後も中堅及びベテラン教員による若手教員の育成を組織的、計画的に行っていく。</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<p>*ご意見等をお願いします。</p> <p>○キャリア教育や面接指導に地域の方の協力を募ってはいかがでしょうか。IU 専門職大学、千葉大学との連携利用。</p> <p>○学習アプリにミライシード以外にキュビナを試験的に導入した。ロイロノートアプリ等などはどのようなことか良く分かりません。また、学力が高い生徒にとっては紙媒体のほうが良いという意見もでているとはどのような理由ですか。学習塾の関係ですか。</p> <p>○コロナになったことで、教育の場でもデジタル化が進んだことは良いと思いますが、同時に手で書いて導き出す能力は退化してしまうのではないかと心配します。例えば数学の証明では、問題に真っ黒になるくらい線を引きヒントを導きだして答えに繋げたのを覚えています。</p> <p>○タブレット活用の授業が主となる場合、今まで繰り返し書いて覚えてきた国語（漢字）等の復習学習との兼ね合いはどうなるのか。</p> <p>○英検・漢検・数検とも年3回実施し、多くの生徒が受験しましたが、我が家では声かけをしても誰も受けず。受験することによるメリット等、子ども達が興味を持てるような声かけをしてほしい。</p> <p>○SC の存在はわかっているけどもどういうときに利用したら良いのか。親へのSC 面談も対応してもらえるのはありがたい。</p> <p>○タブレットでの作業が多いせいか、書く課題が面倒なのか、取りかかるのが遅い。受験では書くことがほとんどなので、文字をたくさん書くことに慣れてほしい。</p> <p>○授業をオンライン化して、コロナによる濃厚接触者ややむを得ず登校できない生徒のために授業できたことは、本当に素晴らしいと思いました。</p> <p>○コロナ禍で職場体験ができなかった学年があったが、今年度は無事に行え</p>			

		<p>て良かったと思う。</p> <p>○【社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等】のコメントに対して『B』の評価の理由がわかりません。</p> <p>全体的に学力が上がってきているという評価が出ているようなので、引き続きよろしく願いいたします。</p>			
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等	B	<p>○毎月いじめに関するアンケートをとり、早期発見早期対応を心がけている。</p> <p>○生徒アンケート「文花中はいじめのない学校だ」の質問に対して、93%の生徒が肯定的な回答であることから、年間を通して、落ち着いた学校生活を保っていることが分かった。一方で、残りの7%の否定的回答を行った生徒が過ごしやすい学校を目指すため、引き続きいじめの根絶を掲げ、対応していく。</p>	B	B
	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等	B	<p>○校則について、年度末反省及び年度当初から常時見直しをはかっており、生徒、保護者、地域の意見や要望を取り入れ改善してきた。今後もLGBTQ等、多様化されていく環境に合わせながら、要望等に応じて合理的で柔軟な対応を行っていく。</p> <p>○今年度から、月に1回ずつ全校集会、生徒会朝礼を実施することができた。来年度は、生徒の自主性を高めるため、生徒会朝礼において、生徒の整列指導や月目標の発表など、生徒だけで運営できるよう指導していく。</p> <p>○今年度の不登校生徒数は、1学年で7名、2学年で1名、3年生で10名と、特に1、3学年で不登校が多い結果となった。特に1学年の生徒では、コミュニケーションの取り方で困っている生徒が多い傾向があることから、学校支援員の個別指導や特別支援専門員らの声かけ、スクールカウンセラーとの相談に加え、SC面談の回数の増加、アンガーマネジメント講義などを行い、SC等と繋がりやすい環境を構築した。現在は7名のうち、3名の生徒が教室に入れる機会が増えており、良い傾向が現れている。また、不登校保護者の会を実施し、不登校に悩む保護者が孤立しないよう取り組んだ。今後は、小学校とより密に連携して小学校の頃の情報を把握するとともに、通級等、外部機関とさらなる連携を図り、不登校傾向にある生徒やその保護者に対して、様々な支援が提供できる環境を構築する。</p>	B	B
	安全を確保するための取組等	B	<p>○交通安全教室や防災安全教室等、計画したものは全て実施できた。コロナウイルスへの感染対策により、中止、縮小されている行事等があるものの、状況に合わせて実施できるものについては実施していく。</p> <p>○避難訓練において、今年度から実際に校庭に避難することができたが、毎回同じ曜日や時間だったため、生徒から見て形骸化の傾向があった。来年度は災害の状況や時間等を毎回変更し、様々なケースを想定して実施する。</p> <p>○昨年度に引き続き、墨田区で定められた感染防止策を基に教育活動を行った。給食では、クラスを2つに分けた上で市松模様に着席し、シールドを活用した。2学年で数日間の学級閉鎖となる結果になったが、学校全体に拡大することなく収束し、教育活動にも大きな支障なく生</p>	B	B

	<p>生徒が復帰することができた。来年度も、状況に合わせて柔軟に対応していく。</p>		
<p>学校関係者評価委員会の意見等</p>	<p>○チーム文花中で対応している。</p> <p>○「B」にしたのは肯定的な意見が 100%ではないためです。</p> <p>○1年生の不登校生徒について小学校との連携をより密にするとのことですが、今まであまり密にできなかった原因は为什么呢。</p> <p>○生徒だけで運営できるように指導していく。は、素晴らしいことです。</p> <p>○改善策に具体的な案が記されていなかったのでC評価にしました。</p> <p>○いじめに関しては、アンケートでは見えにくい問題だと思っています。加えて、家庭においての本人の状況や家族との関係性なども把握できたらと思います。</p> <p>○不登校生徒が、不登校になる理由はひとりひとり異なると思います。先生方の負担を考慮すると、もっと専門員の支援が必要では。</p> <p>○LGBTQ などの多様化で制服が選べるようになりましたが、ズボンかスカートしか選べず、キュロットのようなデザインがあると街中でも違和感をおべないと思います。</p> <p>○行事等がコロナ前に近づいているのはとても良いです。</p> <p>○毎月いじめのアンケートをとることは良いことと思いました。</p> <p>○ズボンを着用している女子生徒がどのくらいいるか知りたいと思いました。</p> <p>○【いじめの根絶を掲げ、対応していく】に対して具体的にどのように対応していくのか？ どういった体制で取組む予定なのか明示をお願いいたします。また、教員の言葉遣いに対する指摘をよく耳にするため、こちらの対策をもっと徹底的にお願いいたします。</p>		

<p>学校の管理運営</p>	<p>経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等</p>	<p>○企画会、運営委員会、職員会議の手順で立案したものが吟味され、効率的に行われている。また、今年度の途中からタブレットを活用した会議を実施し、ペーパーレスに移行した結果、約 2000 枚以上の紙の節約及び、印刷にかかる教員の負担の軽減に成功した。来年度も継続して実施し、SDG s 及び教員の働き方改革等に努めていく。</p> <p>B</p> <p>○感染拡大対策を維持しつつ、職業講話会、マナー教室、がん教育、高校の先生による上級学校教育など、講師を招いた授業を実施した。また、SNS の使い方、SOS の出し方等、外部講師によるオンライン授業も実施した。今後も、外部機関と連携した専門的な学習を積極的に導入するとともに、オンラインも視野に入れた授業が容易に実施できるよう対応していく。</p> <p>○今年度、科学部の活動に模型作成を取り入れ、実験や観察だけでなく、ものづくりに興味がある生徒への活動場所を開拓した。また保護者の参加も促し、土曜日</p>	<p>B</p>	<p>B</p>
----------------	---------------------------------	---	-----------------	-----------------

		には毎月2名の保護者が参加し、生徒と共にものづくりに励んだ。運動部では、陸上部で関東大会に出場するなど、大きな成果を出すことができた。来年度から部活動の地域移行に伴い、学校と地域との部活に対する認識を共有し、生徒が興味のある活動ができる場所を学校、地域、家庭が協力し合い、維持していく関係を構築していく。		
生徒の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	B	○夏季休業中の三者面談では、生徒の i-check の分析などを踏まえ、生徒の実態に合わせた助言を行った。また、生徒の授業アンケートにおいて、「授業が分かりやすいか」の項目で肯定的な意見が全教科平均 92% を達成しており、授業者が生徒の実態に合わせた教育目標を設定していることが分かった。来年度は個別最適化の学習に対応した評価と指導の一体化ができるよう実践していく。	B	B
教育環境・設備等の整備状況等	B	○昨年度に続き、全教科において、ICT を様々な場面で活用してきた。特に強化によってクイズ形式のアプリを積極的に導入し、生徒の関心や意欲を高めつつ前時の復習を行える工夫を行った。一方で、全員が動画を視聴すると遅延が発生するなど、構内の Wi-Fi 環境の強化が課題であることが判明した。GIGA スクール構想に対応するため、ICT 機器がいつでも万全に使用できる環境を構築する。 ○今年度は和式トイレを洋式トイレに改装し、大学と連携し、屋上緑化を行った。保護者アンケートの「環境整備」の項目において、肯定的な意見が 95% であったことから、学校の設備環境は昨年度よりも向上しているといえる。来年度も引き続き施設内の修繕及び掲示物の管理など、毎日の保全に努める。	B	B
学校関係者評価委員会の意見等		○紙の節約が強調されていますが、学力の高い生徒は紙媒体を望んでいるようすが。 ○屋上緑化は知りませんでした。 ○屋上緑化はいいですね。今度見学させて下さい。 ○タブレットを使っのオンライン授業とかは、とても良いと思います。ただ、対面ではないリスクが分かっているにもかかわらず進んでしまう等については、もう少し考えていかないといけないと思う。できるだけ取りこぼさないように。 ○保護者アンケート（環境整備）について肯定的な意見が 95% は良かったと思います。 ○我が家の子は和式トイレが使用できないので、ありがたいのですが和式しかない所に行くとき練習できないのは不安です。 ○こちらの項目もすべての評価が B なのが不明。 ○情報経営イノベーション専門職大学や千葉大学との連携を積極的に進めていただきたい。文花中の特権であり、特色を持たせる絶好の機会と思っています。		

家庭 ・ 地域 連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	B	<p>○学校便りは月に 1 回、学年便りは全学年で合計 30 回以上発行した。また担任によっては学級便りを発行するなど、学校や生徒の様子を定期的に配信してきた。一方、ホームページ（以下、HP）上の学年便りの配信が更新されない期間があったことが課題となった。来年度は、HP との速やかな連携を行い、古い記事の削除、新しい記事の速やかな更新を目指す。</p> <p>○学校情報連絡ツールCOCOOの家庭の導入率は、現在 99%となった。出欠連絡、緊急時の連絡確認、各種アンケート、お知らせ等に活用している。来年度は保護者向けのプリントをメール配信する事を検討し、ペーパーレス化とともに、確実に保護者に情報が行き渡る環境を構築する。</p>	B	B
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	B	<p>○コロナ禍で予定通りの活動ができない部分もあったが、生徒会主催で地域清掃が実施でき、最大で 50 名以上の生徒が参加している日もあった。来年度も様々な経験を通じて、地域貢献や家庭の大切さを学ぶ機会を増やしていく。</p> <p>○地域音楽祭など、地域と関わる行事が実施できない状況が続いている。感染拡大防止対策としてやむを得ない部分があるものの、地域と関われる代案を検討し、実施できる形を検討していく。</p>	B	B
学校関係者評価委員会の意見等	<p>○地域と関われる代案を、ではなく、地域・育成員会と連携を積極的に進める。くらいにしていただけませんか。 （第 2 3 回ふれあいまつりを学校と一緒に進めています）</p> <p>○代案を考えるのは大変だと思いますが、頑張ってください。</p> <p>○コロナも落ち着いてきたので、来年度からは以前のような活動（経験を重視した）ができることを期待します。</p> <p>○コロナ禍での活動は今まで我慢の年月でした。アフターコロナは地域との連携の可能性が広がっていくと思います。</p> <p>○プリントがなかなかだしてもらえないので、COCOO 等でプリントについてお知らせしてほしいです。</p> <p>○コロナ禍で合唱が難しい状況でした。地域音楽祭はとても内容が素晴らしかったので、また行えると嬉しいです。</p> <p>○COCOO の配信が小学校に比べて遅いと感じることがあります。</p> <p>○連携についてはコロナ禍で難しい部分も多くありました。来年度に向け明るさも見えてきました。是非とも、地域の健全育成を連携し取り組んでいければと思います。</p>				

以上のとおり、報告いたします。

墨田区立文花中学校 校長 稲垣 吉実